



鈴縫工業株式会社 SUZUNUI CORPORATION

本社 〒317-0077
茨城県日立市城南町1丁目11番31号
TEL 0294-22-5311(代)
URL <https://www.suzunui.co.jp/>



未来をつくる

TO THE NEXT STAGE



建築

県内外に広がる数々の実績と 100年で培ってきた多彩なノウハウ

子どもたちが快適な環境で学習やスポーツができる学校をはじめ、人々の健康を見守る医療・福祉施設、コミュニティを彩る商業施設、地上10階を超える高層マンションやホテルなど、多数の実績を誇る建築部。創業100年というこれまでの歴史の中で培ってきた多彩なノウハウと、常に磨かれている高度な技

術を存分に活かし、新築から改修、リフォーム、耐震補強工事などトータルに対応できることが強みとなっています。なかでも数多く手がけてきたのが教育施設で、私たちが施工した学校は県内各地に広がります。その歴史から「学校の鈴縫」と呼ばれるほど、厚い信頼を寄せられています。

主な施工実績



石岡市立東小学校



アネージュ石川パークフォート



鹿島セントラルホテル



蓮仙寺本堂



日立オートモティブシステムズ開発試験棟



日立市消防本部



八千代町役場庁舎



北茨城市立関南小学校

業務フロー

01

着工前

施工計画
会議を実施

当社担当者、類似工事の経験者、有識者が参加し、クライアントや建築設計事務所から届いた図面等を元に意見を話し合う。

02

工事初期

工事を円滑に
するための準備

長期間の工事をスムーズに進行するために、近隣へ事前の挨拶回りは必須。日常のコミュニケーションも施工管理の大切な仕事。

03

工事中期

使う人を想像して
進めていく

躯体ができあがっていくと、図面ではわからなかった「使い勝手」の部分がでてくるので、クライアントに寄り添った提案を行う。

04

工事終盤

社内検査体制により
不具合を抽出

仕上げを行う段階で下検査を実施。引き渡し前に最終検査を行い、不具合を無くします。

05

竣工後

定期巡回結果は
社内全体で共有

1年検査、2年検査で状況を確認。不具合が出てしまった場合は速やかに対応し、社内で水平展開。ノウハウの蓄積が財産となる。

Pick Up

土浦協同病院附属看護専門学校 新築工事

工事概要

土浦協同病院附属看護専門学校における、校舎と体育館の新築工事
 ■校舎：鉄筋コンクリート造3階建て[延床面積/6229.98㎡]
 ■体育館：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨構造)2階建て[延床面積/1170.04㎡]



Talker Profile



建築部 上野 一男

大学卒業後、県内の大きな建設会社への就職を考えていました。そんななか、自分が通っていた小・中学校を手がけていたのが鈴縫工業と知り、何かの縁を感じて入社を決意しました。入社以来、施工管理者として地元の数多くの現場を手がけています。

クライアントと設計士のこだわりに応えるために

この作品は一般的な公立の学校とは違い、モダンでデザイン性の高いものでした。さらに、夏休み明けの新学期から使用することが決定していたため施工期間は約1年半という短い工事期間で、遅らせることはNGでのスタートでした。設計にこだわりのある凝ったデザインの場合、構造的に無理が生じてしまう可能性があります。強度と美しさをどちらも兼ね備えた建物とするために、施工計画会議は時間をかけ、多くの人の意見を伺いながら検討を重ねました。な

かでも難しかったのは、コンクリート打ち放しが多用されていたこと。コンクリート打ち放しの場合、Pコンの跡(丸模様)が表面に出ています。今回は特にデザイン性を重視する建物だったため、Pコンの位置に細かくこだわり、仕上がりの美しさを追求していきました。



振り返って、いま感じていること



おかげさまで、第31回茨城建築文化賞において、優秀賞のうち会議議長賞をいただくことができました。これは、設計の意図に合った建築ができたという評価だと思い、大変満足しています。さまざまな建物に携わってきましたが、私の代表的な作品として、家族にも自慢しています。娘の友人がこの学校の生徒さんで、「校舎がオシャレ!」と言ってくれているそうです。なんだかうれしくなりますね。

100人を超える職人さんと向き合う日々

コンクリートという素材の特性上、工程を途中で変更することが難しいため、段取りについて徹底的に考えました。今回の現場は、1日あたり約100人の職人さんが入りました。躯体工事と仕上げが重なる時期になると、その数は約150人に。事前に練った段取りに沿って作業を進めてもらうために、職人さんとは連日綿密な打ち合わせを重ね、無事に強く、美しい建物を竣工させることができました。



土木

地域に住まうすべての人のために 安心して暮らせる快適な生活環境を

道路をはじめ、橋梁や港湾、河川、トンネル、ダム、上下水道など、地域に生活するすべての人のためにインフラを整備している土木部。安全・品質・工期・コストの計画および管理を行いながら、さまざまな工種の現場を運営します。100年という長い歴史のなかで培ってきた信頼や実績が認められ、官公庁をメ

ンのお客様に数多くの工事を手がけてきました。社会や時代のニーズに柔軟に対応することで施工対象は広がり、震災以降は災害復旧工事にも着手しています。地域に広がる当たり前の日常をつくりだすために、技術と品質の向上に努めています。

主な施工実績



茨城港常陸那珂港



圏央道五霞IC橋下部



小山ダム



水戸駅ペDESTリアンデッキ



日本自動車研究所



日立駅前広場



日立中央IC



浜の宮バイパス

業務フロー

01

着工前

担当者全員で
現場に足を運ぶ

図面だけに頼らず、近隣の状況や地形等を直接確認。施工計画会議を開き、「オール鈴縫」の体制で工事の準備を行う。

02

工事初期

段取りが仕事の
成否を決める

工程の作成とシミュレーションを繰り返す。この準備期間の仕事の質が、完成までの長い道のりの礎となる。

03

工事中期

安全管理も
大切な役割の一つ

職人さんの命を預かっているという気持ちを持って、強固な体制を築き、わずかな体調の変化も見逃さない。安全管理に目を光らせる。

04

工事終盤

現場監督としての
判断力が試される

気象条件などの影響もあり、工事終盤になるとどうしても工程が詰まってくる。早めに見極め、早めに対応することが大切。

05

竣工後

次の工事の
品質向上につなげる

鈴縫工業では、現場ごとに作業所目標を掲げて工事に着手。竣工後はその達成度の審議を行い、次の類似工事に活かしていく。

Pick Up

圏央道高良田函渠他工事

工事概要

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)に関する、ボックスカルバートの施工
 ■内径：車道部/幅7.5m×高さ5.6m、歩道部/幅2.0m×高さ5.6m 2連
 ■延長：75.0m

Talker Profile



土木部 佐藤 将光

就職活動の際、地元で大きな仕事に携われると思い入社を決意しました。建設会社によっては工種に偏りがあったり、同一工種の専任となってしまうり、することもありますが、鈴縫工業ではさまざまな分野を担当することができ、充実した毎日を送っています。

「異例」が重なった難工事

かねてから進められていた大規模幹線道路である圏央道工事。関連する工事をいくつも手がけてきましたが、なかでも印象に残っているのが高良田函渠他工事です。圏央道の下を通るボックスカルバートの施工で、今まで通っていた県道をトンネル状にし、その上に圏央道をつくるのであればわかりやすいでしょうか。この工事で依頼されたのは75mのボックスカルバートなのですが、通常は約50mの施工が多く、75mというのはあまりない長さでした。しかも、一般

的な工期より2ヶ月も短いスケジュール。ですが、連結する他の工事に影響が出てしまうこともあり、高良田函渠のみ工期を延ばすことは不可能でした。未知数の短工期、経験したことのないボックスカルバートの長さに対応するため、工程の管理が非常に難しく、着工前からかなり悩まされました。



振り返って、いま感じていること



平成29年に、圏央道の茨城區間が全線開通しました。この新たな高速道路の完成に携われたことを誇りに思っています。短期間で完成できたのは、全員の協力によるもの。人と人とのつながりがあったから完遂できた工事だと思っています。実は無事に終わった安心感が先行していて、達成感は遅れてやってきました。開通した後、自分の運転で家族を乗せて走ったときに、ジワジワと湧いてきたんです。

予測と判断力で、工程をコントロール

通常であれば、類似工事を参考に工程を組み立てることができるのですが、この仕事は当社でも前例のない条件。監理技術者を任された私にとって、まさに挑戦でした。できるだけ工程を詰める必要があるのですが、雨などによりストップせざるを得ない状況が必ず出てきます。数々の難工事を切り抜けてきた先輩方の知恵をアレンジし、その場の判断力で調整しながら、遅れることなく完成させることができました。



先輩社員
代表に
聞く

茨城の未来をつくる 若手社員の夢

明るい未来は、一人ひとりの夢から始まります。このページでは、鈴縫工業で活躍を始めた若手社員が抱えている目標をご紹介します。入社前に抱いていた夢は、実際に働くことで具体的に膨らみました。それは必ず、茨城の未来をつくる種となるはずです。

Q. 鈴縫工業で叶えたいこと / 鈴縫工業でなら叶えられること



数十年後も形に残る仕事をする

道路、橋、ダム、トンネルをどうやって小さな人間が作りあげるのだろうか?と疑問を抱き、建設業界に興味を持ちました。鈴縫工業に入社し、当時の答え合わせを毎日行っている感覚です。当社の土木部は海に強く、港や海岸の工事を多く請け負っています。他社と比べて港湾に関する防災の施工技術が高いと自負しています。数十年後も形に残り、暮らしを守り続ける防波堤など、責任ある現場を任せられる技術者を狙っています。



県内トップクラスのゼネコンとして責任を持つ

茨城県内のゼネコンではトップクラスであることから、入社を決意しました。働いてみて気づいた強みは、「建てる」技術だけではない、ということです。例えば、分譲・賃貸マンションでは、さまざまなお客様のご要望に応えられる対応力があります。医療施設では、特殊な設備を有する建物を施工できる豊富な知識に感銘を受けました。私も先輩たちのように、日立を、そして茨城を代表するような建築物をつくりたいと思っています。



思いやりと気配りで誰からも頼られる存在に

「地元で貢献できる会社」をポイントに就職活動をしていました。鈴縫工業は茨城県の中でも規模が大きく、歴史も長いので、より深く貢献できると思い入社しました。電話対応に伝票や書類の作成、請求書の処理などの現場をサポートする事務を担当しているため、道路や建物などをつくることはありません。しかし、細かい手続きを通じて工事を円滑に進めるチカラになることはできるはず。部署内からも工事の現場からも頼られる存在になりたいと思っています。



人々の生活に欠かせない仕事をする

地域の暮らしの支えになるものをつくりたいと思い入社した私は、最初の配属でその思いに近づくことができました。震災の津波で被害を受けた大津港の船揚場を復旧する工事を担当できたのです。現場近くには民家があり、騒音や防塵などの対策を行い、迷惑がかからないように施工には注意を払いました。当社にはさまざまな職種がありますが、今後も道路や橋梁など、人々の生活に欠かせないインフラ整備にかかわっていききたいと思っています。

社員の幸せ
を大切
に

社員をおもおう 鈴縫工業の取り組み

鈴縫工業では福利厚生を充実させています。オンとオフのメリハリがつくような休暇制度や、気分をリフレッシュできるイベント、スキル向上を目指す人をサポートする資格手当制度を用意。家族を大切にしたいという思いから、結婚や出産のお祝い金もご用意しています。

伝統を守りつつ、時代の変化に合わせた働き方を

リフレッシュ休暇  現場の工期に応じて、完工後に特別休暇(最大5日間、土日と合わせて7日間)を取得することが可能です。趣味や旅行の時間に充てることができます。	高い給与水準  会社の利益はできるだけ社員に還元したいと考えています。茨城県に本社を構える企業の中では、高い給与水準となっています。	合格祝い金と資格手当  会社が奨励する資格に合格すると、合格祝い金と毎月の資格手当が支給されます。 例) 各種1級施工管理技士 報奨金:15万円 資格手当:月々1万円	結婚・出産祝い金  結婚やお子さんが誕生した際には、お祝い金(結婚3万円/出産1万円)を支給しています。大切な家族のためにお使いください。
コミュニケーション支援  同期および同世代の社員3名以上での食事会や飲み会を行う場合、一人につき最大5千円が支給されます。(3ヶ月に1度まで)	社員寮  各拠点に寮を完備しています。家賃や光熱費は会社負担。また、寮母さんによる手作りの温かい食事(有料)もあり、単身者に好評です。	遠隔地手当  基本的に自宅から通える範囲の現場を担当しますが、通いが困難な場合は現場付近の寮に入居していただき、手当を支給します。 例) 日立からつくばの現場に就く場合は、月4万円の手当を支給	労働組合  鈴縫工業には労働組合がありません。給与のベースアップ、賞与、年間休日数など、会社と協議を行い、社員のための働く環境づくりを行っています。
産前産後休暇  女性が負担なく働きやすいように、産休や育休の制度を整えています。取得率も復帰率も100%。働く女性を応援しています。	男性も育休取得ができる会社に  当社では、男性社員の育休取得を奨励しています。ママの負担を軽減し、家族との時間を大切にしてもらいたいと考えています。	ソフトボール大会  年に1度、事業部ごとのチームや協力業者のチームなど全6チームで対決。女性社員も含めて毎回大盛り上がり。例年「土木チーム」が好成績です!	ボウリング大会  拠点ごとに開催し、その得点で総合優勝者を決定します。上位入賞者には豪華景品も用意。もちろん、女性にはハンデがつきますよ。